

令和7年度第3回住吉区地域福祉専門会議 会議要旨

- 1 日時 令和8年2月19日（木） 午後6時から午後7時40分
- 2 場所 住吉区役所 4階 第4・5会議室
- 3 出席者
（委員）
宮川委員、上原委員、相良委員、實宗委員、殿井委員、藤居委員、松岡委員、三橋委員、山野委員
小野アドバイザー
（区役所他）
区長、副区長、関係課長、課長代理、担当係長、住吉区社会福祉協議会事務局長、地域支援担当係長

4 議題

【報告】

- （1）住吉区地域見守り支援システム進捗状況について
- （2）重点取組事項の進捗について
- （3）地域座談会の開催について
- （4）頼れる身寄りがいない高齢者等への対応について

【議事】

住吉区地域福祉ビジョン改訂の方向性について

【その他】

令和8年度の開催日程について

5 議事要旨等

【報告】

- （1）住吉区地域見守り支援システム進捗状況について
 - ・別添資料1のとおり
 - ・今年度は未回答者に意向確認書を再送付した結果、例年より多くの回答を得た。
 - ・進捗報告は今後、基本的に第1回会議でのみ行う。
- （2）重点取組事項の進捗について
 - ・別添資料2～4のとおり
- （3）地域座談会の開催について
 - ・別添資料5のとおり
- （4）頼れる身寄りがいない高齢者等への対応について
 - ・別添資料6のとおり

【報告についての意見】

- ・地域座談会へ障がい福祉分野の支援者や利用者の参加を提案。これに対し、区としては、多様な参加者が集う場として働きかける意向。
- ・頼れる身寄りのない高齢者について、入院の際にケアマネージャーが駆け付けたり、緊急連絡先になったりして対応している実態がある。
- ・医療同意は、法律の立て付け上、後見人でも難しい。

【議事 住吉区地域福祉ビジョン改訂の方向性について】

事務局案

- ・現行ビジョン Ver. 3.0（令和6年度～令和8年度）を、次期計画としてビジョン4.0へ改訂。
- ・ビジョン4.0の計画期間は令和9年度～令和11年度の3年間。
- ・「はじめに」「基本理念」「基本理念の考え方」「基本目標」は踏襲し、必要に応じて時点修正。
- ・「現状と課題」「これまで取り組めたこと」「これからの目標」は現状・実績を踏まえ修正し、会議意見を反映して見直し。
- ・重点取組事項は、計画期間と合わせた3年間のアクションプランとして充実化し、ビジョンとともに策定。

- ・スケジュール案：
 - ・令和8年6月 第1回専門会議でビジョン4.0素案提示
 - ・(仮称) ビジョン改訂小委員会で検討
 - ・令和8年10月 第2回専門会議で案提示
 - ・令和8年11月中旬～12月中旬 パブリックコメント
 - ・令和9年2月 第3回専門会議で確定

小野アドバイザーより

- ・地域福祉は「制度・専門職による公的福祉」と「住民・民間による取組」の両要素が重要。
- ・住吉区ビジョンの特徴として、問題解決に加え「幸せづくり (Well-being)」を基調にした地域づくりを重視。
- ・問題解決型だけでなく「住吉区の福祉がこうなったらいい」という目的実現型の意見も重要。

主な意見

- ・地域では一生懸命見守り活動をしているのに、何事も個人情報で理由に、例えば「亡くなった」等の共有がされない。
- ・個人情報が専門職と地域住民との連携や関係づくりを難しくしている。ビジョンがめざす地域の本来の幸せのためには、専門職がいかに関係性を保つかが課題。
- ・蓄積されてきた対応方法を、専門職の間で共有していくことが重要。
- ・地域支援員が、(要援護者支援) 台帳を活用して、専門職とつながれば良いと思う。ビジョンの改訂については、地域による温度差も改善できるものであってほしい。
- ・縦のつながりと横のつながりが大事だが、個人情報がそのつながりを難しくしている。そこを法的にカバーしてもらえそうな仕組みが必要。
- ・(台帳に) 登録されていない方のほうが、問題を多く抱えているように感じる。横のつながりが無いというのが、地域の問題。さらに個人情報にもジレンマがある。
- ・ソーシャルインクルージョン、誰もとりこぼさないという考え方は必要。
- ・地域包括支援センターに安否確認があったときに、情報を取り扱う難しさがある。この情報を出さないと前に進まない場合などは、出せる範囲で共有しながら、地域と連携を取っている。
- ・「気になるなあ」から専門職につながっていく仕組みが大切。地域から得た情報を大切に使いながら、単なる制度としてではなく、地域の支えあいの一員に専門職として入ってほしい。
- ・地域の方々の幸せが、専門職の幸せにもつながるという Well-being をめざすことが大事。
- ・地域支援員に担当者会議に入ってもらえれば、事業所との顔合わせもできるし、情報共有もできる。部会に持ち帰ってそういう提案をしたい。障がい福祉では事業所が不足しているために、相談員がいない方も多く、通所系の事業所にもこういったことを伝えていきたい。
- ・障がいのある方も含めて、みんなが地域で暮らしやすいということが大事。障がい福祉の分野での地域自立支援協議会で検討できなかったものなどは、こういう場で発信をしていきたい。
- ・地域の方の思いを専門職はくみ取っていくことが必要。
- ・弱い方が守られる社会が誰にとっても守られる社会。自分だけでなく、地域が幸せということがキーワード。

小野アドバイザーより

- ・地域によっての温度差をどうするのかはポイント。横のつながりをどう作るかは、地域福祉の大きな柱である。地域と専門職との連動性、つながりをダイナミックに。マイナスからゼロにではなくて、地域幸せづくりを。

【その他】

令和8年度の開催日程について

- ・第1回 令和8年6月4日(木) 午後6時から
- ・第2回 令和8年10月22日(木) 午後6時から
- ・第3回 令和9年2月18日(木) 午後6時から